

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会		会議場所 第3委員会室
			担当職員 数井
日 時	令和6年8月7日（月）	開 議	午後 2時00分
		閉 議	午後 3時31分
出席委員	◎小林 ○竹内 浅田 原野 松山 山本 福井 （欠席：三上）		
執行機関出席者			
事務局		数井事務局次長	
傍聴	可・否	市民 2名	報道関係者 0名 議員 0名 （ ）

会 議 の 概 要

開議 14:00～

1 開議

<小林委員長>

三上委員から会議を欠席する届出が提出されているので承知願う。なお、事務事業評価の選定については委員会の総意に一任することを確認済みである。

2 案件

○事務事業評価対象事業の選定

<小林委員長>

事務事業評価対象事業の選定について、各委員から候補を挙げていただいた。各委員、抽出理由等意見をお願いする。

【竹内副委員長、浅田委員、原野委員、松山委員、山本委員、福井委員、小林委員長から、別添「R6総務文教分科会 決算事務事業評価対象事業候補リスト（委員ごと）」に基づき、選定事業及び選定理由を説明】

<小林委員長>

三上委員の選定分についてはリストで確認願う。それぞれの選定理由を確認した上で、部室ごとに並び替えたリストがあるので、それも参考に選考を願う。選考方法について意見あるか。

<福井委員>

合計いくつの事業を予定しているのか。

<事務局次長>

3事業まででお願いしたい。

<松山委員>

令和5年度の決算として、より深く検討できる項目がよいと思う。不登校については課題意識があり、選定していくべきだと考える。

<福井委員>

4人の委員から選定されているので決まりでよいと思う。

<竹内副委員長>

不登校対策については今月の月例の委員会で意見交換会を開催する予定であるが重複しないのか。

<松山委員>

意見交換会で研究を深めた上で事務事業評価をすることがよいのではないか。

<福井委員>

事務事業評価に選定したほうが市長の目に留まるであろうし、予算に反映されると思う。

<浅田委員>

不登校は決定でよいと思う。

<松山委員>

情報教育推進経費が不登校対策経費と関連しているがどうか。

<福井委員>

情報教育推進経費も候補でよいと思う。ほかに複数選ばれているものとして文化振興経費、かめおか霧の芸術祭に係る経費や生涯学習推進経費、ギャラリーかめおか指定管理料がある。

<事務局次長>

できれば昨年実施した事業以外で選定いただきたい。

<福井委員>

GIGAスクール構想もはじめてから数年が経過した。現状確認の意味から情報教育推進経費を選定してはどうか。

<小林委員長>

今のところ、不登校対策経費と情報教育推進経費の2事業が挙がっている。もう一つはどうか。

<竹内副委員長>

市庁舎における自治体DXに関連した議案については専門用語が多く、審査が十分にできていないのではないかと考えており、研究もかねて情報化推進経費を選定してはどうか。

<小林委員長>

それでは、情報化推進経費、不登校対策経費、情報教育推進経費の3事業でよいかな。
—全員了—

3 その他

<小林委員長>

次回は、8月26日(月)午前10時から決算内容について総務文教分科会勉強会を開催する。本日は散会する。

散会 ～15:31